

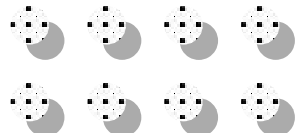
多文化共生とまちづくりへの期待

学際研究会
2026年5月22日

武井克真

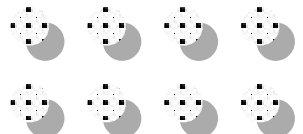
本日の目標

- 「多文化共生のまちづくりのために、私たちはどんな取り組みができるのか？」を、群馬県の事例から考える



本日の内容

- 多文化共生の定義（卑見）
- 群馬県の現状
- 事例（館林のロヒンギヤ、境町モスク）
- 結論



多文化共生とは？

- **多文化共生 = 「誰もがありのまま、嫌な思いをすることもなく、気楽に暮らせる状態」**（国籍や民族、障害の有無、性別や性自認、年齢なども含む様々な差異を持った人たちが）
 - **他文化強制ではない**
 - **文化の多様性や差異を維持しながら、共に生きる**
 - **排除されない、孤立しない**
- 大連での経験（大連は居心地が良かった）
- しかし、年に1回、気の重くなる時があった（9月）

多文化共生とは？

- 大連の9月18日（満州事変の日）
 - 午前9時18分に警報が鳴り、車が一斉にクラクションを鳴らす
 - 危害を加えられることはないと分かっているにもかかわらず、気が重く、複雑な思い
- 日本で排外主義が強まり、ヘイトスピーチなどが増えれば、在日外国人の方々にとっては毎日が9月18日
- そうならないためにも、多文化共生のまちづくりを

群馬県と外国籍県民（2025年12月末）

- 外国人住民数：87,544人（対前年比6,148人増）
- 県人口（1,893,898人）の4.6%
- 115か国・地域（対前年比-4か国・地域）
- 人口最多：伊勢崎市 17,320人（8.2%）
- 比率最多：大泉町 21.8%（9,011人 / 41,267人）
- 比率10%以上：草津町（11.8%）、昭和村（10.5%）

群馬県と外国籍県民

会社案内 | 採用情報 | 主催イベント | 著作権 (記事)

上毛新聞 電子版 北部 南部

人事異動検索 有料会員限定コンテンツ アプリなら貯まります POINT

20代の外国人比率 群馬県は2025年に14.1%で全国1位 全国は10年で倍増、社会の支え手に

政治行政 社会

公開：2026/4/26 19:00

この記事をクリップ

ポスト

B! ブックマーク

20代の外国人住民比率が1割を超えた12都府県

都府県	外国人住民比率(%)
群馬県	14.1
岐阜県	12.8
茨城県	12.5
三重県	12.5
東京都	12.0
京都府	12.0
愛知県	11.1
静岡県	10.9
栃木県	10.5
大分県	10.2
千葉県	10.2
大阪府	10.1
全国	9.5

※各都府県の20代人口に占める外国人住民の比率。2025年1月1日時点の住民基本台帳人口を基に集計

ギャラリーを見る

日本国内の20代人口に占める外国人住民の比率が2015年の4.1%から急速に上昇し、2025年には9.5%に達したことが25日までに分かった。都道府県別では、群馬県の14.1%が最も高かった。少子化で日本人の若年層が大幅に減少する中、外国人は労働だけでなく社会保障の支え手として存在感が高まっている。20代の外国人住民数は10年間で

倍増した。海外人材受け入れ制度「育成就労」の新設などを背景に、さらに増える公算が大きい。地域社会定着に向け、日本語学習や専門技能習得への支援が課題となる。

20代の外国人住民比率が1割を超えた12都府県

都府県	外国人住民比率(%)
群馬県	14.1
岐阜県	12.8
茨城県	12.5
三重県	12.5
東京都	12.0
京都府	12.0
愛知県	11.1
静岡県	10.9
栃木県	10.5
大分県	10.2
千葉県	10.2
大阪府	10.1
全国	9.5

※各都府県の20代人口に占める外国人住民の比率。2025年1月1日時点の住民基本台帳人口を基に集計

群馬県と外国籍県民 実情は？

「外国人は外国人、日本人は日本人」 意外に接点のない共生の町

深掘り | 社会 | 政治 | 経済 | 速報 | 群馬 | 関東

毎日新聞 | 2025/10/28 05:01 (最終更新 10/28 06:00) | 有料記事 | 1888文字



会場には多くの人々が訪れ、ネパール料理やブラジル料理など本場の味を楽しんだ = 群馬県大泉町で8月23日、川上晃弘撮影

8月23日夜。外国人が多く住んでいることで知られる群馬県大泉町で国際交流イベントが開かれていた。会場となった同町坂田の「花の広場」にはブラジルやタイ、ネパールなど8カ国の屋台が並び、日本人や外国人が本場の料理を楽しんでいる。

この日集まったのは約6000人。人口4万人ほどの町でこれだけ集まるのは、多文化共生で知られる大泉町ならではだ。

しかし、実情は少し違う。

「正直なところ、地元の人ほとんどいない」。主催した町観光協会の男性がそう明かしたイベントをやっていたので、会場のそばをみられる批判的な書き込みも少なくないとい

「共生の町」として全国から視察が相次ぐ。住民の思いは複雑で、交錯している。

2024年の統計によれば、大泉町に住む外国人が人口の約1割を占める。

実際、町を歩くと外国人の姿が目立つ。東

群馬県の現状 意識調査

- 「外国人県民向け調査『令和 2 年度外国人県民アンケート』」
- 「日本人県民向け調査『令和 2 年度多文化共生・共創推進アンケート』」
- 調査期間：2021 年 3 月～5 月
- 前回の調査は 2016 年 7 月～10 月

出所：群馬県「多文化共生・共創ポータルサイト」
<https://www.pref.gunma.jp/site/tabunka/>

群馬県の現状 意識調査

- 外国人向け調査
- 群馬県での暮らし
 - 「幸せだと感じている」または「やや幸せだと感じている」 72.4 %（新規）
- 日本人との交流
 - 「積極的に交流したい」 73.8 %（67.0 %）

群馬県の現状 意識調査

- 日本人向け調査
- 外国人と顔を合わせることがありますか
 - よくある 24.9 % (47.2 %)
- 外国人住民との関わりは深めるべきだと思いますか
 - 生活上、必要最低限の交流はしたほうがよい 60.1 % (50.6 %)
 - 積極的に深めていくほうがよい 11.5 % (13.6 %)
 - 特に深めなくてもよい 16.5 % (20.0 %)

群馬県の現状 意識調査

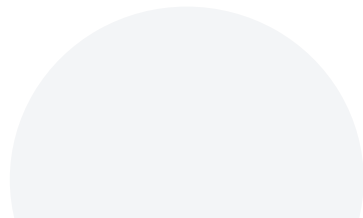
□ 日本人向け調査

• 外国人住民が増えることに関する考え

- 「外国の文化・風習に触れる機会が増える」
76.1% (73.3%)
- 「労働力が補充される」 64.3% (75.4%)
- 「意思疎通ができないのではと不安になる」
51.2% (62.5%)
- 「受入れ整備のために、税金からの負担が増す」
46.5% (61.0%)

群馬県の現状

- 群馬に衝突やヘイトはほぼない（管見の限り）
- 多文化共生が上手くいっているからではなく、すみ分けており、接触がないからでないか？



活躍する外国籍の子供たち

- 「少年の主張」 群馬県大会
 - アジズ・ハディア「言葉のヤングケアラー」
 - 2024 年度、最優秀賞
 - ナズルル・アミン「戦争の意味」
 - 2025 年度、優秀賞
 - カラム・アティカ「互いを受け入れられる社会へ」
 - 2021 年度、努力賞

ナズルル・アミン 「戦争の意味」

- どんな理由があっても、戦争によって奪われた命は戻ってきません。爆弾ひとつで壊される命や街。そこに理由があるからといって、正当化されることはないと思います。
- 「戦争の意味」とは何でしょうか。僕はそれが「人間が何を失い、何を学ばなければならないかを示すもの」だと思います。
- **相手を「敵」としか見ず、理解しようとする心を失ったとき、人は争いを選んでしまう。**

カラム・アティカ「互いを受け入れられる社会へ」

- 「難民」が世界にいる理由。それは、**お互いが、お互いの考え方の違いを受け入れようとしない**からだ。
- 私は、イスラム教の文化を大切にしながら、日本で生きている。（中略）私は、イスラム教とは、まったく違う文化の日本に住んでいるけれど、とても幸せなのだ。それは、周りにいる人が私のことを受け入れてくれるからこそだ。そして、そんな人たちがいたからこそ、私自身も日本を周りにいる人を受け入れることができた。

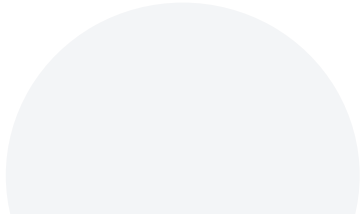
館林のロヒンギャ

- ロヒンギャとして（同化を強いられず）、館林に溶け込んでいる
- 「館林は差別や迫害がない。ロヒンギャが幸せに暮らせる」（B氏）
- 「ロヒンギャは、日本人と変わらない暮らしをしています」（A氏）
- 「委員会活動やクラスで中心的な役割を果たすロヒンギャの児童もいる」（館林市立第十小学校長、上毛新聞 2015年11月7日）
- コミュニティには助け合いが根付いている

館林のロヒンギャ

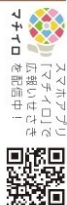
- 1994年、一般社団法人在日ビルマロヒンギャ協会を設立（大宮）
- 1996年、1人目（当時の協会会長）のロヒンギャが館林へ
- 2010年前後、約150人。2015年前後、約200人。2020年前後、約250人。現在、300人以上。
- 2000年、マスジド・サラーマト（ロヒンギャのモスク）開設
- 2010年前後、市民から市役所へ苦情。館林市国際交流協会の仲介で、**ロヒンギャと市民が話し合い。相互理解が進む**
- 2021年、一般社団法人在日ロヒンギャコミュニティを設立

ダールッサラーム・マシド（境町モスク）

- 1日平均で約15か国、50人ほどが利用（2025年2月、群馬テレビ）
 - 外国籍市民の生活支援に尽力
 - イマーム（バングラデシュ出身）が6言語（ベンガル語、アラビア語、ウルドゥー語、ペルシア語、英語、日本語）を操り、対応
 - 地域と外国人コミュニティとの接点でもある
- 

ダールツサラーム・マスジド（境町モスク）

国際
いせさまき 2022.11.1 No.429



スマホアプリ
「イセさま」を
ダウンロード
してください



困っている人を助けることが 自分自身の幸せに

ムハンマド ジャービル さん

モスクに来る外国人の生活を助ける

11年前に境町モスクの先導者として来日しました。モスクでは毎日5回の礼拝が行われ、さまざまな国籍の人がやって来ます。礼拝後には市からの大切なお知らせを、それぞれの文化に合わせて分かりやすく伝えたり、市から届いた通知が読めず困っている外国人に内容を教えたりしています。

子どもたちが日本での生活に困らないように

境町モスクの近くの建物では、5歳から14歳くらいまでの子どもを対象に学習塾を開き、アラビア語や道徳などの他、日本で生活する上でのルールを教えています。子どもたちは、学校で教えてもらったことをここで改めて学ぶことで、それが大切なことであると認識することができます。また、学習塾以外にも小学校入学前の子どもを対象に、簡単な日本語や算数、英語などを教えています。外国人の子どもたちが小学校入学後に、授業についていけることや学校での生活に困らないことを目的に教えています。

伊勢崎で活動を続けるために

これらの活動を継続するために、ことしの3月に日本国籍を取得しました。困っている人を助けることで、自分自身も幸せな気持ちになります。これからも伊勢崎で活動を続け、困っている人の力になりたいです。



ムハンマド ジャービル さん

出身国

バングラデシュ
プロフィール 日本語を含め6つの言語を話すことができる。いつか誰かの役に立てればと、市災害時外国人支援ボランティアに登録し、医療通訳の資格も取得。休日は家族を連れて公園に出掛けることが楽しみ。

ダールツサラーム・マスジド（境町モスク）

《Reぐんま 人口減の先に》(7) 伊勢崎市境地区 中心街に外国人住民 共に地域美化 共生探る

地域の話 政治行政 社会

公開：2025/7/27 12:00

この記事をクリップ

× ポスト B! ブックマーク



ギャラリーを見る

モスク近くを歩く山本さん（左）とジャービルさん



Reぐんま・人口減の先に

農林業、社会保障、インフラ維持
群馬県のあらゆる局面でしみを
それを逆手に新たな価値を作り出そ
いる。地域社会の再構築（Re）
前線の現場から考える。

前の記事：《Reぐんま 人口減
大利根町 高齢化進む大規模
え合い

記事一覧

地元の文化財を巡りながら、外国人住民と共にごみを拾って歩く。
崎市境地区で一風変わったイベントが開かれた。「境まちなか歴史探
を企画したのは、市内に住む若者たち。市とイベントを共催したNPC
市）の代表、山本祥一さん（22）はこの地区で生まれ育った。

上毛新聞 電子版

学生中心のNPOが外国人住民とごみ拾い 群馬・伊勢崎市 境地区の歴史学びながら汗

地域の話 社会

公開：2025/5/27 06:00

この記事をクリップ

× ポスト B! ブックマーク



ギャラリーを見る

ごみを分別する参加者

群馬県伊勢崎市で子どもの居場所づくりなどに
取り組む大学生、高校生中心のNPO法人アスワ
ード（山本祥一代表理事）は25日、同市境地区で、
多文化共生イベント「境まちなか歴史探索ク
リーニング作戦」を初めて開いた。外国人住民と境
地区の歴史を学び、周辺のごみ拾いに汗を流した。

伊勢崎市の境町モスクに通う...

ダールッサラーム・マスジド（境町モスク）



外国人住民と相互に理解へ

境町モスクと地元区長が懇談

外国人住民と相互に理解へ モスク関係者と地元区長が懇談 群馬・伊勢崎市(25/02/20)

群馬テレビ・ぐんテレ
チャンネル登録者数 4.9万人

チャンネル登録

高評価 共有 保存



<https://youtu.be/CRUvCDeKzOA?si=AzI531gOuG9wP5EX>

ダールツサラーム・マスジド（境町モスク）

上毛新聞 電子版

まちづくり推進委員会を発足 境地区中心街活性化へ地元有志 群馬・伊勢崎市 若者やモスク関係者も

社会

地域の話

公開：2026/3/4 11:30

この記事をクリップ

✕ ポスト

B! ブックマーク

空洞化が進む群馬県伊勢崎市境地区の中心市街地活性化を目指し、地元有志が連携して「境まちづくり推進委員会」を立ち上げた。地域の若者に加えてモスク関係者ら外国籍住民も参加している。幅広い住民の意見を取り入れながら、東武境町駅周辺の今後の可能性など、地域の将来を見据えた議論を進める。

2025年12月に設立総会を開き、...

まちづくりへの期待

- 館林ロヒンギヤと境町モスクの共通点

- 窓口がはっきりしている（在日ビルマロヒンギヤ協会、境町モスク）
 - ▶ 「代表を決めておくことは大切。代表がはっきりしていれば、市役所などもこちらに連絡しやすい」（A氏）
- 日本側にも交流に熱心な団体がある（館林市国際交流協会、NPO アスワード）

まちづくりへの期待

- 私たちはどんな取り組みができるのか
 - 問題があれば話し合い、交流の機会を増やす、理解し合う
 - 世界の事例にも目を向ける（台湾、マレーシア、ニュージーランド、中央ユーラシア、スペインなど）



<https://www.mpp.govt.nz>

Pacific Language Weeks 2026

Language	2026 Dates
Rotuma Language Week	Sunday 10 May - Saturday 16 May
Samoa Language Week	Sunday 31 May - Saturday 6 June
Kiribati Language Week	Sunday 5 July - Saturday 11 July
Vanuatu Language Week	Sunday 26 July - Saturday 1 August
Cook Islands Māori Language Week	Sunday 2 August - Saturday 8 August
Tonga Language Week	Sunday 16 August - Saturday 22 August
Papua New Guinea Pidgin Language Week	Sunday 6 September - Saturday 12 September
Tuvalu Language Week	Sunday 27 September - Saturday 3 October
Fijian Language Week	Sunday 4 October - Saturday 10 October
Niue Language Week	Sunday 18 October - Saturday 24 October
Tokelau Language Week	Sunday 25 October - Saturday 31 October
Solomon Islands Pidgin Language Week	Sunday 22 November - Saturday 28 November

Ablet Abduréshit Berqi (ウイグル人の詩人)

私の右に アラブの友
左に ユダヤの友
二人は 黙って 私を見る
どちらの側に いるのかと
私は 答える
私は
流れた血の側に
流れた涙の側に いる

「国家という存在は、誕生と同時に戦争や憎悪を生み出してしまふ。だからこそウイグルと漢族の問題を、国家の枠を超え、人間同士の関係として語りたい。そのために詩を書くのだ」

まちづくりへの期待（効果）

- 多文化共生のまちづくり

- 誰かを排除しない地域

- 誰かを孤立させない地域

- 差別され、排除され、孤立している人が、つながりを求めてヘイト活動や闇バイトに流れる？

↓

- 多文化共生は地域全体（そこに暮らす全ての人）にも良い効果を生む

クルアーン 第 49 章 13 節

人びとよ、われらは一人の男と一人の女からあなた方を創り、
さまざまな種族と部族に分けました。
それはあなた方が、**互いに知り合いになるため**です。

資料

- アジズ・ハディア 「言葉のヤングケアラー」
<https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/639969.pdf>
- アミン・ナズルル 「戦争の意味」
<https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/677428.pdf>
- カラム・アティカ 「互いを受け入れられる社会へ」
<https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/134114.pdf>



資料

- 特定非営利活動法人共に暮らす（ともくら）
→ 言葉のヤングケアラーに取り組んでいる

<https://tomokura.org>

<https://www.youtube.com/channel/UC-9ba2ohxQyoPjEk3VoMG1w>

